（議提議案第７号）

令和３年１２月２０日

議長　大久保　照　夫　様

提　出　者　　議　員　　影　山　琢　也
〃　　〃　　山　下　一　男
〃　　〃　　三　浦　和　一
〃　　〃　　小　林　一　貫
〃　　〃　　権　田　清　志
〃　　〃　　大　山　美智子

議案提出について

令和３年第４回市議会定例会（１２月２０日の会議）に下記の議案を別紙のとおり提出する。

記

［議提議案第７号］　コロナ禍における米の需給改善及び米価下落の対策を求める意見書

〔理　　由〕　コロナ禍による未曽有の危機下にあって、我が国の食を支える米農家、疲弊した地域経済及び主食用米の安定供給を守る、より一層の米価下落対策の取組を求めるため

# コロナ禍における米の需給改善及び米価下落の対策を求める意見書

近年、食生活の多様化及び少子高齢化を背景に、米の消費量が長期的に減少している中で、昨年来のコロナ禍による外食需要の激減などにより、主食用米の販売不振に追い打ちをかけている。

農林水産省の統計によれば、令和３年９月末時点における民間の米在庫は全国で２１４万トンに上っており、昨年同時期より２４万トン増加し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の令和元年と比較すると、５３万トンの増加となっている。

こうした在庫状況を背景に、くまがや農業協同組合が農家に示す米の買取り価格、いわゆる概算金が、キヌヒカリ、彩のかがやき及び彩のきずなのいずれも８，０００円と、令和２年の１１，９００円から約３３パーセント下落した。

本市においては対策は講じられているものの、このまま米の在庫が積み上がることにより米価の下落が続けば、小規模農家だけでなく、地域の担い手として農地の集約を積極的に推進している大規模経営の生産農家も米作りから撤退することにつながりかねない。

コロナ禍による未曽有の危機下にあっては、我が国の食を支える米農家、疲弊した地域経済及び主食用米の安定供給を守るために、より一層の米価下落対策の取組が今こそ求められている。

よって、国においては、下記の事項を速やかに実施するよう強く要望する。

記

１　コロナ禍による需要減少に伴う過剰米及び備蓄米を有効に活用すること等により、米価の回復につながる対策を講ずること。

２　米価の下落により売上金額が減少した米農家に対して、コロナ禍における他業種の経営支援策と同様の支援策を講ずること。

３　水田活用の直接支払交付金をはじめとした作付転換を実現するための予算を継続的かつ十分に確保すること。

４　農業協同組合所有のカントリーエレベーターを活用し、業務用米、米粉用米、飼料用米等の保管・流通を促進すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和３年１２月２０日

熊　谷　市　議　会

衆 議 院 議 長　様
参 議 院 議 長　様
内 閣 総 理 大 臣　様
財　務　大　臣　様
農 林 水 産 大 臣　様